

9月20日 訂正

■コメント

1. RSウイルス感染症

20人(定点当り0.83人)報告されており、先週と同レベルでした。全国的にも増加傾向であることから、注意が必要です。

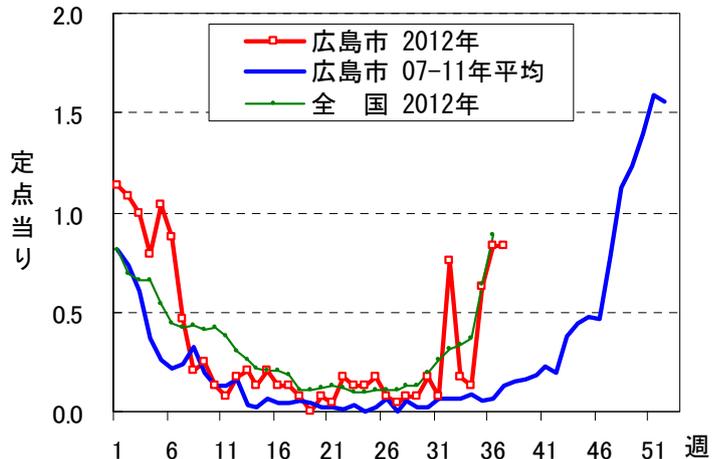
RSウイルス感染症は、年齢を問わず繰り返し感染しますが、年齢が低いほど重症化しやすく肺炎や気管支炎を引き起こすことがあるため、乳幼児は特に注意しなければならない病気です。

特に、ぜんそくのような激しいせきや、息をする時にゼーゼーという苦しそうな音がある場合は、速やかに医療機関を受診して治療を受けることをお勧めします。

2. インフルエンザ

市内の定点医療機関から2012/13シーズン初めての患者が1人(定点当り0.03人)報告されました。

RSウイルス感染症 2012年 第37週現在



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均過去5年間(注)	発生記号
インフルエンザ	1	0.03	0.32		ヘルパンギーナ	8	0.33	0.67	
咽頭結膜熱	3	0.13	0.33		流行性耳下腺炎	8	0.33	0.49	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	15	0.63	0.79	⇒	RSウイルス感染症	20	0.83	0.13	⇒
感染性胃腸炎	85	3.54	3.34	⇒	急性出血性結膜炎	-	-	0.05	
水痘	11	0.46	0.63	⇩	流行性角結膜炎	2	0.25	1.15	
手足口病	1	0.04	0.98		細菌性髄膜炎	-	-	0.03	
伝染性紅斑	2	0.08	0.18		無菌性髄膜炎	2	0.29	0.03	
突発性発しん	11	0.46	0.78		マイコプラズマ肺炎	4	0.57	0.29	
百日咳	5	0.21	0.15		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	

急増減 ↑ ↓ 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↗ ↘ 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ⇨ ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当り)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	4	218	男性(60歳代)・1人、男性(70歳代)・1人、男性(80歳代)・1人、女性(90歳代)・1人

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎
		第33週	1	4	5	53	14	-	1	5	-	12	4	4	4	-	2	-	-
第34週	-	3	7	60	17	6	2	11	2	25	6	3	1	3	-	1	4	-	-
第35週	-	4	6	61	5	2	3	11	4	8	6	15	-	2	1	-	8	-	-
第36週	-	4	16	89	21	3	3	9	1	11	3	20	-	3	-	-	2	-	-
第37週	-	3	15	85	11	1	2	11	5	8	8	20	-	2	-	2	4	-	-
定点当り	広島市	0.03	0.17	0.21	2.21	0.58	-	0.04	0.21	-	0.50	0.17	0.17	-	0.25	-	-	-	-
第34週	-	0.13	0.29	2.50	0.71	0.25	0.08	0.46	0.08	1.04	0.25	0.13	0.13	0.38	-	0.14	0.57	-	-
第35週	-	0.17	0.25	2.54	0.21	0.08	0.13	0.46	0.17	0.33	0.25	0.63	-	0.25	0.14	-	1.14	-	-
第36週	-	0.17	0.67	3.71	0.88	0.13	0.13	0.38	0.04	0.46	0.13	0.83	-	0.38	-	-	0.29	-	-
第37週	-	0.13	0.63	3.54	0.46	0.04	0.08	0.46	0.21	0.33	0.33	0.83	-	0.25	-	0.29	0.57	-	-
全国	第35週	0.25	0.29	0.73	3.09	0.38	0.81	0.08	0.75	0.03	1.13	0.38	0.64	0.01	0.68	0.03	0.05	1.09	0.03
第36週	0.20	0.34	0.81	3.15	0.50	0.89	0.07	0.70	0.04	1.00	0.34	0.89	0.01	0.60	0.04	0.04	1.08	0.03	

■新たに判明した病原体検出状況

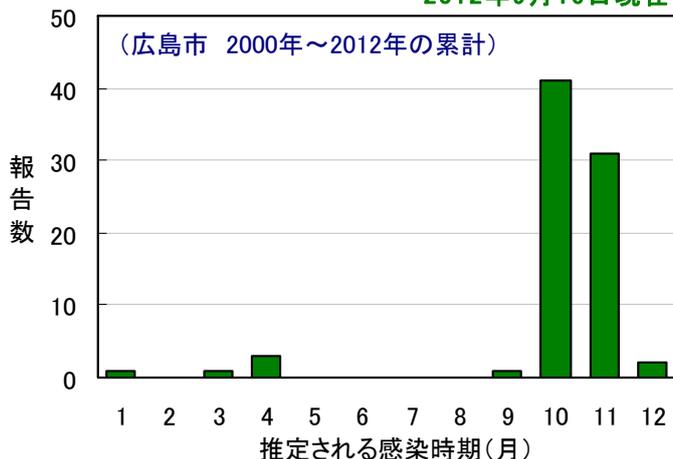
(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
ヘルパンギーナ	発熱 熱性痙攣	1	不詳	2012/08/01	咽頭拭い液 糞便 咽頭拭い液	コクサッキーウイルスA2型 アデノウイルス2型
その他の呼吸器疾患	発熱(38.9) 上気道炎	0	男	2012/08/05	鼻汁(拭い液)	コクサッキーウイルスA2型
その他の呼吸器疾患	紅斑 上気道炎 肝機能障害	0	男	2012/08/02	鼻汁(拭い液)	パラインフルエンザウイルス1型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

【参考】広島市におけるつつが虫病の感染月別報告数(2012年9月16日現在)

つつが虫病の感染月別報告数(2000年以降累計)
2012年9月16日現在



つつが虫病に注意しましょう!

つつが虫病は、ダニの一種であるツツガムシの幼虫に刺されることによって感染する病気で、広島市では毎年秋から初冬にかけて多くなります。

山林や草むらに入るときは、長袖、長ズボン、長靴、手袋などを着用して、ツツガムシに刺されないよう注意が必要です。

(*注)左のグラフは、2000年から2012年にかけて届出のあった100件のうち、感染時期の記載のあった届出80件について感染月別に集計したものです。ほとんどが10月から11月の間に感染しており、この時期は特に注意する必要があります。

つつが虫病に関する詳しい情報は以下のホームページをご覧ください。
感染症トピックス/つつが虫病 <http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/contents/000000000000/1265941211892/index.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページをご覧ください。

URL <http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2012年第37週(9月10日～9月16日)